学校番号	3027

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ	3	2	LANDMARK Fit English Communication　Ⅱ（啓林館） ・WORKBOOK（啓林館） ・Database Avail（桐原書店） ・Focus on Listening (EMILE) ・Active Reader　Intermediate (いいずな書店)

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅡでは、１年生で学んだ学習内容を基に、「聞くこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「読むこと」、「書くこと」という４技能５領域の力を伸ばします。様々な題材の英文を題材に、英語の表現や文法の使い方を確認しながら、書かれた内容を正確に理解するとともに、背景知識や文化を学びましょう。
・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。また、音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。聞き手に伝わりやすい英語を話せるよう、リズムやイントネーションに気を付けて音読練習を行いましょう。
・学習内容に関連したコミュニケーション活動を通して、さらに理解を深め、自分の意見を表現できるようにしましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・日常的な話題について、一定の支援を活用すれば、話の展開や話し手の意図を把握することができる。 ・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。	・日常的な話題について、一定の支援を活用すれば、文章の展開や書き手の意図を把握することができる ・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。	・日常的な話題について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 ・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。	・日常的な話題について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。 ・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。	・日常的な話題について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。 ・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、一定の支援を活用すれば、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson 1 A Swedish Girl’s Discoveries in Japan Lesson 2 A Message from Emperor Penguins	聞くこと	a: 英問や英文を聞いて、内容を正しく理解することができる。 b: 日常的な話題（「生き物・環境」や「職業・日本文化」など）について、必要な情報を聞き取っている。 c: 日常的な話題（「生き物・環境」や「職業・日本文化」など）について、必要な情報を聞きとろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: それぞれ示されるリーディングポイントを探し読みすることができる。 b: 身の周りの事柄（「環境」や「日本文化」など）に関する英語で書かれた説明を読んで概要を捉えている。 c: 身の周りの事柄（「環境」や「日本文化」など）について英語で書かれた説明を読んで概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 意味のまとまりを適切に区切り、リズムを持って発表の準備をすることができる。 b: 日常的な話題（自分の好きなもの）について、多様な語句や文を用いて話している。 c: 日常的な話題（自分の好きなもの）について、多様な語句や文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 比較級や時制について理解している。 b: 生き物や環境について、まとまりのある文章を書いている。 c: 生き物や環境について、まとまりのある文章を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 3 Tokyo’s Seven-Minute Miracle Lesson 4 Seeds for the Future	聞くこと	a: 英問や英文を聞いて、内容を正しく理解することができる。 b: 社会的な話題（日本文化・食糧問題）に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握している。 c: 社会的な話題（日本文化・食糧問題）に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 各 Part にある中心文を見つけることができる。 b: 社会的な話題（日本文化・食糧問題）に関する情報を読み、文章の展開や書き手の意図を把握している。 c: 社会的な話題（日本文化・食糧問題）に関する情報を読み、文章の展開や書き手の意図を把握しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: グループ活動において積極的な会話を行い、自身の考えをまとめることができる。 b: 社会的な話題（日本文化・食糧問題（）について、多様な語句や文を用いて伝え合っている。 c: 社会的な話題（日本文化・食糧問題）について、聞き手、話し手に配慮しながら主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 日本文化を紹介するために必要な書く技能を身に付けている。 b: 日本文化について多様な語句や文を用いて書いている。 c: 日本文化について多様な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			

2	Lesson 5 Gaudi and His Messenger Lesson 6 Edo: A Sustainable Society	聞くこと	a: 本文英文を聴いて、大まかな概要を把握できる。 b: 社会的な話題()についての説明を、視覚情報などを参考にしながら理解している。 c: 社会的な話題(SDGS・芸術など)についての説明を、視覚情報などを参考にしながら理解しようとしている。	定期考査 (リスニング)
		読むこと	a: 本文内容を問う英文を正確に理解することができる。 b: 社会的な話題(SDGS・芸術など)について書かれた文章を読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解することができる。 c: 社会的な話題(SDGS・芸術など)について書かれた文章を読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解しようとしている。	定期考査 (リーディング)
		話すこと (発表)	a: グループ活動において積極的な会話を行い、自身の考えをまとめることができる。 b: 社会的な話題(SDGS・芸術など)について、多様な語句や文を用いて話している。 c: 社会的な話題(SDGS・芸術など)について、多様な語句や文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 分詞について理解している。 b: 社会的な話題(SDGS・芸術など)について、多様な語句や文を用いて書いている。 c: 助動詞について理解する。	定期考査 (ライティング)
	中間考査			
	Lesson 7 Biodiesel Adventure: From Global to Glocal Lesson 8 Our Future with AI	聞くこと	a: ナチュラルスピードの本文をディクテーションすることができる。 b: 社会的な話題(SDGS・科学など)についての説明を聞き、要点を理解している。 c: 社会的な話題(SDGS・科学など)についての説明を聞き、要点を理解しようとしている。	定期考査 (リスニング)
		読むこと	a: 関係代名詞の表現を的確に把握し、その使い方と内容を理解した上で、本文の内容を正確に把握できる。 b: 社会的な話題(環境・科学など)について書かれた文章を読んで、概要を捉えている。 c: 社会的な話題(環境・科学など)について書かれた文章を読んで、概要を捉えようとしている。	定期考査 (リーディング)
		話すこと (やり取り)	a: 意味のまとまりを適切に区切り、リズムを持って説明や発表をすることができる。 b: 社会的な話題(環境・科学など)について、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて伝え合うやり取りを続けている。 c: 社会的な話題(環境・科学など)について、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて伝え合うやり取りを続けようとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 分詞構文、関係詞など本文中に出てきた文法を使って、指示に沿った適切な英文を書くことができる。 b: 社会的な話題(環境・科学など)について考えたことを多様な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いている。 c: 社会的な話題(環境・科学など)について考えたことを多様な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書こうとしている。	定期考査 (ライティング)
	期末考査			
3	Optional Lesson 1 Language Change over Time	聞くこと	a: 社会的な話題(言語・文化)について、グループ活動において他者の意見を聴き議論することができる。 b: 社会的な話題(言語・文化)について、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を捉えている。 c: 社会的な話題(言語・文化)について、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を捉えようとしている。	定期考査 (リスニング)
		読むこと	a: as if (though)＋仮定法や強調構文における知識が確実に定着している。また適切に処理できる。 b: 社会的な話題(言語・文化)について書かれた文章を読んで、書き手の意図を理解することができる。 c: 社会的な話題(言語・文化)について書かれた文章を読んで、書き手の意図を把握しようとしている。	定期考査 (リーディング)
		話すこと (やり取り)	a: 本課で知り得た情報をもとに、英語で発表することができる。 b: 社会的な話題(言語・文化)について、論理性に注意して詳しく話して伝え合う事ができる。 c: 社会的な話題(言語・文化)について、論理性に注意して詳しく話して伝え合おうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 本文にある情報を簡潔に表にまとめたり、要約文を作成したりすることができる。	定期考査 (ライティング)

			b: 社会的な話題(言語・文化)について、複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。 c: 社会的な話題()について、複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えようとしている。	
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度